

みんなのしあわせ

主な内容

- お子さまの一時預かりを行っています 2P
- 第52回水戸市社会福祉大会 3～5P
- みた社協NEWS 6P
- ご芳志ありがとうございました 7P
- ボランティアセンターだより 8P

いろいろな人と 笑顔でふれあい・ 支えあい

一時預かり事業所あかつかスマイルキッズでは、併設のデイサービスを利用する高齢者や身体に障害がある利用者と活動する機会をたくさん設けています。その交流をとおして子どもたちは思いやりの心を育み、デイサービスの利用者はにっこり笑顔になります。



たくさんチューリップが咲くといいね



みんなで折り紙つくると楽しいね



チューリップが
きれいに咲いたね



美味しく
できたかな



お子さまの一時預かりを 行っています

一時預かり事業所あかつかスマイルキッズ

水戸市社協では、ご家庭の事情で一時的に保育が必要になった時や保護者のリフレッシュのために就学前のお子さまをお預かりします。

スマイルキッズってどんなところ？

1日の流れ

- 9:00 登所
自由遊び
- 10:00 朝の会
- 11:15 昼食
- 12:30 お昼寝
- 15:00 おやつ
自由遊び
- 17:00 降所



①あたたかな保育

お子さまたちの小さな変化や個性と向き合える温かな保育を目指しています。



②共生型事業

併設するデイサービスの利用者と交流しながら相手を思いやる気持ち、多様性を受け止める心を育みます。



③食への関心

食事のマナーを身につけ、楽しく食べること。野菜作りを通して食べ物を大切にする感謝の気持ちを高めます。

- 対 象** 生後6か月から就学前の乳幼児
- 利 用 日** 月曜日～土曜日(祝日も可)
- 利用時間** 9:00～17:00
- 利用料金** 1日 2,100円
半日 1,050円(9:00～13:00/13:00～17:00)
※保育無償化の対象事業所です

- 申 込 み** ①事前に登録が必要です。
②利用予約は2週間前から受付けます。

[問合せ]

一時預かり事業所あかつかスマイルキッズ
住所：水戸市赤塚 1-1 ミオスビル2階
電話：029-309-5101



詳細は、
ホームページを
ご覧ください

利 用 者 の 声



Aさん親子

幅広い年齢の人と接することができる場所がとても良いです。育児のアドバイスもしてくれて親切で安心です。



Bさん親子

人見知りの我が子もご機嫌に遊んでいました。また、今日の出来事、食事のことなどきちんと説明してくれます。





特集

第52回 水戸市社会福祉大会

10月20日(水)、水戸プラザホテルにおいて3年ぶりに開催された水戸市社会福祉大会。福祉の向上に功績のあった方々を顕彰し、福祉のまちづくりを目指す大会です。講演の部では、水戸ヤクルト販売株式会社代表取締役社長の内藤学氏(写真左)による「寄り添い支え合い、笑顔あふれる健康都市・水戸をめざして」をテーマにした講演があり、会場は笑いあり・涙ありで包まれました。

今回は、顕彰された方へインタビューを行い、日々の活動の様子をお届けします。

―顕彰受賞者のご紹介―(敬称略)

表彰状

○民生委員・児童委員

前田均 小林英孝 竹林雅子

○社会福祉団体役員

岡田浩 岩本多實 森邦雄
富岡忠 鈴木國男 細谷洋
白井好男

○自立生活者

平戸俊忠 庄司修

○ボランティア

みんなのピアノを贈る会
パソボラ水戸 涌泉力男
鈴木芳夫 中川英夫 勝村操
小網昇

○社会福祉協議会関係役員・相談員等

内谷由喜子 小形勝恵 伊藤健司
藤枝みち 中村正樹 飛田静子
茅根たか子 菊地久枝 倉岡美佳
八周俊隆 大津能子 清水浩子
山本文雄 川又多恵子 川田久仁美
菊池操子 櫻井道夫 横田和二
磯畑たつ美 和田厚子 皆川輝夫
野内はるみ 品川雅夫 菊池妙子
小川和子 天野政幸 齋藤智一郎
田村和久 平井まり子 大森ますみ

感謝状

○社会福祉協力共助者

(株)栄光通商
水戸遊技場組合
水戸ヤクルト販売(株)
常陽ボランティア倶楽部
井能喜実 莊司ひで 庄司園美
高畑健児 小森正巳 川内幸子
高橋康暉 太田元子 才丸洋子
星野正美 大信重典 飯田洋

○介護者

飛田静 藤田容子
吉田世津子

受賞者代表謝辞

私は、水戸市社会福祉協議会堀原支部の支部長、社会福祉協議会の評議員として活動し、今年退任いたしました。

近年の福祉課題の解決のためには、人と人とのつながりや支え合いが、重要とされています。

このたびの表彰を期に、心豊かで思いやりと優しさを忘れずに、これからも地域福祉活動に協力してまいります。

ありがとうございました。

受賞者代表 高畑 健児

Interview 1

自立生活者

障害者手帳を所持し、
自立した生活が他の模範
となる方

涙、涙の受賞



室内の清掃をする庄司さん

「頑張って仕事をしてきたことが報われました。また、いばらきコープの皆さんに支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです」そう話すのは、いばらきコープ生活協同組合で清掃の仕事をしている



平戸 俊忠 様(左)
庄司 修 様(右)

平戸さんと庄司さん。2人は、身体障害者手帳を持ちながら一般就労としてトイレや建物内の清掃を行い、15年以上働いています。いばらきコープの担当者は、「清掃も見事ですが、相手にしっかりと伝わるような挨拶をしてくれて素晴らしいです」と太鼓判を押します。

受賞した当日は、登壇時に涙を流しながら表彰状を受取った平戸さん。「これから変わらず、常に頑張りたいです」、庄司さんは、「将来どこまでできるか不安ですが、1日1日頑張っていきたいです」と力強く話されました。

Interview 2

ボランティア

多年にわたるボランティア活動を通して地域福祉の推進に貢献した方

教えることへのやりがい



算数を教えている小網さんの様子

子どもたちに勉強を優しく教えている小網さんは、小学生・中学生の児童生徒に対する学習支援ボランティアとして5年以上活躍しています。

小網さんが学習支援ボランティアを始めたきっかけは、「教員を退職してから学習支援ボランティアのお話をいた



小網 昇 様

だき、また少しでも役に立てれば」と思ったからだそうです。

学習支援は、子どもたちに自立した生活ができるように勉強を教えることだけでなく、安心してくつろげる居場所づくりとしての役割もあります。「子どもたちが出来なかったことが出来るようになる様子を見て」と自分自身のやりがいに繋がる」と強く語ります。

今後の活動について、「ボランティア活動に参加したくても出来ない事情の人もいる中で、こうして活動できることはとても嬉しいかぎりです。このような活動がもっと広がり、福祉活動が活性化することを願っています」と話されました。

社会福祉 協力共助者

社協、福祉施設・団体に
寄附などの協力共助で社会
福祉の増進に貢献した方

地域の皆さまのために

常陽ボランティア倶楽部
は、常陽銀行行員・グルー
プ会社社員等で構成されて
おり、福祉や環境など6分野
において活動されています。
森林保全活動、障害者等のス



マラソン大会の運営ボランティアを行っている様子

「誰かのために」という気
持ちは忘れずに着実に今で
きることを模索しながらこの活
動を継続していきたいと力強
く語られました。

活動の意義について「ボラ
ンティア活動は、継続するこ
とが大切であり、常陽銀行は、
地域の皆さまの支えがあつて
こそ成り立っているのです、恩
返ししていきたいです」と話
されました。

スポーツ大会の運営支援や福祉
施設等への寄贈等による地域
貢献活動を行っています。
部長の横山さんは、「新型
コロナウイルスの影響で活動
を行うことができていません
が、早く活動ができる状況に
なつてほしい」と切実な願い
を訴えます。



常陽ボランティア倶楽部
部長 横山 歩 様

福祉のまち水戸の 実現に向けて

「福祉のまち水戸」の実現を目指
すにあたっては、社会福祉大会で顕
彰された地域住民や事業者、関係団
体、ボランティアなどの皆さまの活
躍が不可欠です。水戸市社会福祉協
議会は、そのような皆さまと連携し
協働していくことで地域社会づくり
を推進しています。

社会福祉大会の趣旨でもある5つ
の願いが込められた「みんなの福祉
のまちづくり憲章」の実現に向け、
皆さまのご協力をよろしくお願いし
ます。

みんなの福祉のまちづくり憲章

平成25年7月5日 制定
社会福祉法人 水戸市社会福祉協議会

わたしたちは
住み慣れた地域の福祉を増進し
ふれあいと優しさ溢れる
福祉のまち「水戸」を目指します。

- I みんなで 安全安心な暮らしにしよう
- I みんなで 子供たちを健やかに育てよう
- I みんなで 互いを理解し尊重しよう
- I みんなで 絆を大切に 支え合おう
- I みんなで 福祉のまち「水戸」にしよう

結婚 50 年をお祝いして

11 月 22 日（月）、2 年ぶりに開催された金婚祝賀会。結婚 50 年をお祝いしてご夫妻の金婚記念写真の撮影と式典が行われました。水戸市議会議長須田浩和様をはじめ、多くの来賓の皆さまから、211 組のご夫妻へお祝いの言葉をいただきました。

アトラクションの部では、NPO 法人ポルターモ様による「語りと音楽でつむぐコンサート」を、東日本大震災の復興への思いやふるさとの郷愁などの映像とともにお届けしました。静かな語りに引き込まれ、華やかな歌声に癒される内容でした。

写真撮影では、「もっと笑って」とカメラマンに求められ、はにかみながら写真撮影に臨むご夫妻のご様子がとても印象的でした。参加されたご夫妻は、「普段、あまり写真を撮らないので、プロのカメラマンに撮っていただきうれしかった」と話されていました。



赤い羽根共同募金が 始まりました

10 月 1 日（金）、全国一斉に「赤い羽根共同募金」運動が始まりました。今年も多くの方が足を止めて募金に協力いただきました。

皆さまからお寄せいただいた募金は、水戸市内の地域福祉活動や災害支援などに役立てられます。

3 月 31 日までの間、街中で赤い羽根の募金箱を見かけましたら、ご協力くださいますようお願いいたします。

今年も皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。

みなさまのご芳志ありがとうございました

ご寄付は福祉施設等に有効に活用させていただきました。

水戸市社会福祉協議会

令和3年8月～令和3年10月受付分
(敬称略・順不同)

寄付金 (社会福祉事業に)

林由香里／水戸シニアアンサンブル／荘司良一／荘司ひで

(令和3年度10月末累計額 388,136円)

使用済み切手・プリペイドカード類・物品等

水戸更生保護女性会／水戸市母子寡婦福祉会／(株)カワスミ／吉田潤一／みんなのピアノを贈る会／混声合唱団コール水戸／水戸河和田郵便局／水戸市介護保険課／朗読ボランティアクラブやよい／戸田産業(株)／たまり場かねた／ミュージックベル28[♪]響(ひびき)／植田昌克／手話サークルたんぽぽの会／田中美登里／ケアハウスハートピア水戸／水戸市高齢福祉課／水戸市福祉総務課／サークル・点心／外岡健夫／西井光宏／地域生活支援センターかさらは／うつぎざき梨園／松崎保元法律事務所／石川ふれあい電話和と輪の会／和知商事(株)／橋本律子／園部美喜子／水戸市清掃事務所／モリシタ化学産業(株)／下野ソフトバレー／(株)匠建築研究室／岡崎彪志／茨城県隊友会水戸支部／川上清／藤橋よし江／石田弘市／丸山八重子／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会見川支部／池田武男／布の花／小菅由紀子／磯田典子／飯竹清志／飛座敏子／レディスピア／水戸地区防犯連絡員協議会赤塚分会／八木岡豊子／水戸要約筆記サークル萌／水戸シニアアンサンブル／ガールスカウト茨城第26団／みどり幼稚園父母の会／ディライトホームボランティアクラブ／雑賀大介／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会笠原支部／茨城歌人会／(学)常磐大学智学館中等教育学校／薄井京子／エキスパート(株)／ボーイスカウト水戸第4団／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会西部支部／(福)同仁会／矢野間雅道／水戸市社会福祉協議会緑岡支部／(株)ダイナム／(有)M. D. S／須能信明／薄井板金工業／(株)サンアメニティ茨城支社／あおい玩具(株)／朗読ボランティア「コスモス」／園芸ボランティア「花hana」／富岡ゴム(株)／黒澤保夫／川村和雄／アートセンタータキタ／齊藤通／城東女性会／水戸下市郵便局／池田洋子／石川邦博／水戸市保健推進員城東支部／八木岡宗一／堀江効／小柳万里子／野菊の会／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会常澄支部／(株)富士住建／鈴木美津子／水戸市シルバーリハビリ体操指導士の会南部第一支部／水戸おもちゃクリニック

〈寄付金をいただきました〉



林由香里様

〈梨をいただきました〉



うつぎざき梨園様

〈寄付金をいただきました〉



水戸シニアアンサンブル様

〈たくさんの方の不織布マスクをいただきました〉



(有)M. D. S様

〈食品などをいただきました〉



(株)ダイナム様

編集後記

「40・50歳ははなたれ小僧、60・70歳は働き盛り、90歳になって迎えが来たら、100歳まで待てと追い返せ」といったのは日本経済の父、渋沢栄一氏の言葉です。人生100年時代と言われる今日、私たちは本当に長生きするようになりました。高齢者(65歳以上)は全国で3640万人、そのうち働いている人は909万人です。孫と一緒に同じ土俵で仕事をする時代です。世代や障害者の有無、性別の違いに関係なく生きがいを感じる多様性と共生ができることが大切であると思います。(宮田 礼彰 記)

編集発行

水戸市社会福祉協議会広報紙編集委員会
社会福祉法人水戸市社会福祉協議会
〒311-4141 水戸市赤塚 1-1
(水戸市福祉ボランティア会館内)
TEL 029-309-5001
FAX 029-309-5525
URL <http://www.mito-syakyo.or.jp>
E-mail syakyo@mito-syakyo.or.jp





(シンボルマークと標語)

ボランティアセンター だより

問 合 せ ・ 申 込 み 等

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)
TEL 029-309-1011 FAX 029-309-1139
<http://www.mito-syakyo.or.jp>
月曜日～金曜日 9:30～16:30



育てよう みんなの幸せ 思いやり

これからの災害ボランティア活動とICT活用

近年、毎年のように全国的に地震、台風、豪雨など自然災害が多発しており、茨城県各地においても令和元年10月の台風19号により、大きな被害が発生したことは記憶に新しいところです。この災害に際し、ボランティア活動を円滑に進めるための災害ボランティアセンター(以下「災ボラ」という。)を設置しましたが、運営当初は想定よりもボランティアの皆さんが多く駆けつけたこともあり、課題も多く残りました。

また、今後は新型コロナウイルス感染症の影響を想定した災ボラの運営を検討しなければなりません。実際にコロナ禍で被災した地域では、ボランティアの受け入れを県内や市内に限定した活動が報告されています。



実際にシステムを操作する
研修の様子

アプリで災ボラ運営～ワンチーム茨城で災害に備える！

このような状況において、県社協は被災者への効果的な支援を行えるようにすることはもとより、限られた人員で効率的に災ボラを運営しなければならないと考え、昨年から県社協、茨城県、都内のIT企業の3者で協議を重ね、災ボラの運営におけるボランティアの「事前登録」、「当日受付」、「被災地のニーズ把握」、「活動報告」など、さまざまな情報を集約・共有化できるアプリ(ICTシステム)「いばらき型災害ボランティア運営支援システム(通称:アイボス)」を開発しました。

現在は、県社協を中心に県内の市町村社協の担当職員が、災ボラ運営時スムーズにアプリの操作とその説明ができるように研修を行っています。被災した方々が、一日でも早く日常を取り戻せるための“被災地復興に欠かせない必須アイテム”になるよう、今まで以上に自治体や県内市町村社協などと連携を図っていききたいと思います。

「今こそ広げよう!ボランティアの輪」～私たちにできること～

10月17日(日)に開催予定のイベント「第20回ボランティアまつり in ミオス」が新型コロナウイルス感染拡大の影響により昨年に引き続き、中止となってしまいました。主催者である水戸市ボランティア連絡協議会は、イベントの代替えとして、コロナ禍による生活困窮世帯やひとり親世帯への支援を行う「今こそ広げよう!ボランティアの輪プロジェクト」を立ち上げました。

呼びかけに応じた各ボランティアサークルからは、お米や調味料、レトルト食品、洗剤など多くの食料や物資が集まり、その後フードバンクやNPO法人などに届けられました。また、集まった支援金は水戸市共同募金委員会をとおして、茨城県共同募金会に寄付されました。

